

## 永納山城跡 発掘調査結果

調査は遺跡範囲を確定することが第一の目的であったため、城壁部分を中心としたものでした。

その結果、列石と土塁による城壁や傾斜が急な岩盤を利用した城壁など、人工物と自然地形を巧みに組み合わせた外郭構造が明らかになりました。

また、これらを結んだ城壁外郭線の全長は、欠損部分も含め発見当初に示されていた約2・5<sup>キ</sup>であることも再確認されています。



▶列石と土塁による城壁



▲石積みによる城壁

### これからの 永納山城

永納山城跡は、これまでの調査によって遺跡の範囲が確定し重要性が明らかとなり、国史跡に指定されました。し

▼現地説明会



◀調査指導委員会の様子

かし、城壁周辺以外に関してはまったくの未調査状態です。今後は、いまだ不明確な城内や城門などの確認調査を実施していかねばなりません。また、保存・整備・活用については、長期的な視野で進めていく必要があります。1300年の時を経て眠りから覚めた永納山城を、いかにして未来へ残し伝えていくかが私たちがのこれからの課題です。

永納山城跡が地域に根ざした文化財となっていくよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 永納山城跡 国史跡指定記念 シンポジウム開催

永納山城跡の国史跡指定を記念し、シンポジウムを開催いたします。

当日は県内外の専門家を招き、記念講演とパネルディスカッションを行う予定です。

ぜひご参加ください。



日時 11月13日(日) 13時30分～16時30分

会場 中央公民館1階 多目的ホール

問合せ 東予郷土館 TEL0898-65-4797

### ◆記念講演

講演者 狩野 久氏 (元岡山大学教授)

### ◆パネルディスカッション

・コーディネーター

下條信行氏 (愛媛大学教授)

・パネラー

石松好雄氏 (下関市立考古博物館館長)

狩野 久氏 (元岡山大学教授)

長井數秋氏 (愛媛考古学研究所所長)

白石成二氏 (県立今治工業高等学校教諭)